

報 告 書

令和4年10月27日

座間市議会議長

荻原健司 殿

座間市公明党

安田早苗

次のとおり報告します。

- 1 視察日時 令和4年10月26日（水）
- 2 視察先
（1）東京都八王子市
- 3 視察項目
（1）八王子市立高尾山学園について
- 4 概 要 別紙のとおり

令和4年10月27日

座間市議会議長

荻原健司 殿

座間市公明党

安田早苗

視察所感

(1) 八王子市立高尾山学園について

小・中学校で不登校の児童生徒が過去最多を記録する中、文部科学省は不登校特例校の設置を促進していますが、八王子市立高尾山学園は不登校特例校としてすでに18年前に開設されており、特例校のパイオニア的存在でもあります。

不登校の児童生徒は学校での生きづらさや家庭内環境、また本人の抱える問題等、千差万別の課題があるため、高尾山学園では一人一人の心の安定を図ることを最優先にし、学校に居場所を作ることに重点を置いています。特徴的なのが、“自由に授業を抜け出してOK”という独自ルールで、「今日はつらいな」といった場合は、卓球台やカードゲーム、漫画などをそろえた「プレイルーム」や、スクールカウンセラーらが常駐する「相談室」などの“居場所”で過ごせます。

実際に見学させていただいた中で、ゲームをやりながら相談員が子どもたちの話に真剣に耳を傾けている姿がありました。また、それぞれのペースで学習を進められるよう、少人数教育とサポートの体制も整えられています。学校に行けなくなった児童生徒を受け止め、寄り添い、ともに進んでいくことで、少しずつ学校生活を送れるようになっている現状を見せていただきました。

現在99名の児童生徒が在籍しています。校長先生は「友人や教員との関係で傷ついたり、勉強についていけず、自信を失っていた子どもたちが、ここへ来て1年もすれば元気を取り戻している」と語られていましたが、進学率は95%以上、高校の在籍率も85%以上となり成果が表れています。本市においても誰一人置き去りにされない教育環境の整備に向け、特例校をはじめ、多様な選択肢も設けられるよう取り組んでまいります。

最後に、不登校の小・中学校の生徒数が急増している現状は国にとっても大きな損失でもあります。将来の国の人材となりうる未来の宝を救うためにも、この不登校問題に真剣に向き合うべきであると強く感じました。